学校だより







令和4年度 釧路町立遠矢中学校3月号 No.14 〈教育目標〉

創造的に思考する生徒 自他を大切にする生徒 健康でたくましい生徒 人間感情の豊かな生徒 物事を最後までやり抜く生徒

発行責任者:校長 佐藤 毅 令和5年3月24日発行

「令和4年度卒業証書授与式式辞」より

校 長 佐 藤 毅

去る3月15日、晴天の下、第76回卒業証書授与式が 挙行され、28名の卒業生が緊張感のある素晴らしい態度 で卒業証書を受けてくれました。また、在校生も3年生の 姿をしっかり目に焼き付けようと、集中した態度で参列し、 とても厳かな式になったと感じています。また、送辞では 在校生代表の河合李應さんが伝統を引き継ぎ、さらに進歩 させていく誓いを力強く述べました。また、卒業生代表の 對馬菖姫さんが、中学校生活の思い出や感謝の気持ち、そ して、それぞれが進む先で精一杯努力していくことを述べ てくれ、感動的な答辞となりました。

式辞より

~前略

28名の3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。 入学以来、感染防止対策のための様々な取組や、授業における制限、体育祭や文化祭等の縮小開催等、落ち着かない学校生活が余儀なくされました。しかし、この | 年間は皆さんは常に冷静で、落ち着いた言動を取ってくれました。そのお陰で、 | 、2年生も安心して学校生活を送ることができたのだと感じています。また、様々な制約がある中でも、皆さんは楽しみを見いだし、真剣に取り組むことでも、皆さんは楽しみを見いだし、真剣に取り組むことで当初の目的を達成してくれました。体育祭。各チームのリーダーとしてチームをまとめ、最後まで力を抜かず優勝目指して競技してくれました。文化祭。自分たちで練習方法を 工夫し、迫力のあるよさこいソーランや感動的な演劇を披露してくれました。修学旅行。どの見学地においてもグループで積極的に楽しもうとする姿が素敵でした。学校生活を通して、学級として、そして一人一人がとてもたくましくなり、大きな成長が見られました。

ところで、私はこれまでいろいろな場面で、「将来は自立して、社会で活躍できる人に成長してほしい」とお話ししてきました。また、そのために常に学校生活の全てにおいて学び、「知・徳・体」を高めていくことが大切だと伝えてきました。

「自立」とは「自分で立つ」と書きます。そして「日常 生活での自立」、「社会生活での自立」、「経済的な自立」の 全てを含んでいます。皆さんは、今はまだ保護されている 状況です。ですから、ご両親を含めて面倒をみてくれてい る方々を「保護者」と呼びます。しかし、早ければ3年後 には社会に出ていくことになります。その時には、保護さ れている状況から独立し、自分一人の力で生活していかな ければなりません。皆さんの「知・徳・体」は準備できて いるでしょうか。準備できていない部分、不足している部 分、それが「課題」です。義務教育での9年間で皆さんは いろいろなことを学びましたが、「自分はもう完璧」という 人はいないと思います。でも、安心して下さい。もうすぐ 60歳になる私にも、校長として、そして、人として、ま だまだ課題がたくさんあります。どんな人にも課題は必ず あるのです。大切なのは、自分の課題をしっかり把握し、 それを認めて、解決する努力を続けることだと考えていま す。自分が課題だと認めれば、それを指摘されても頭に来ることはないはずです。これから進む進学先では、常に課題意識を持って、積極的に学んで欲しいと思います。私は「人間、死ぬまで勉強だ」と考えています。そして、「課題」を一つ一つ解決していく営みが人生を充実したものにしてくれると考えています。

卒業する皆さんに、私の座右の銘である言葉を贈ります。 それは、書家で詩人の相田みつをさんの「一生燃焼 一生 感動 一生不悟」です。

自分のエネルギーを燃やし、いつも目の前にあることに 全力で取り組んでいこう。全力で挑戦することで、たくさ んのことを学び、感動を得ることができるはずだ。そして、 少しずつ前進し、いろいろなことを理解できるはずだ。で も、全てのことを理解することはできないし、死ぬまで完 璧な人にはなれないんだよな。そういう意味だと解釈して います。私もそうありたいと考えています。是非、皆さん にも、たくさんの感動を得ながら、充実した毎日を過ごし て欲しいと願っています。

さて、保護者の皆様、本日はお子様の卒業、誠におめで とうございます。コロナ不安を払拭することができない状 況が続く中、本校の教育活動に対し、ご理解をいただくと ともに、常に落ち着いた対応をしていただき、本当にあり がとうございました。そのお陰で、私たち教職員が、子ど もたちへの教育活動に集中することができましたこと、 心より感謝申し上げます。コロナ禍はもちろんのこと、社 会が目まぐるしく変化し、益々生きづらい社会になって、 くことが予想されます。その厳しい社会を生き抜き、充実 した人生を歩むことができますよう、親として、大生の先 輩として、そして、お互いに学び合う存在として、ご指導、 ご支援下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、無限大の可能性を秘めた卒業生の皆さんがチャレンジを続け、自分の足でしっかりと社会に立ち、自分の能力を発揮して、社会に貢献できる人に成長してくれることを心から祈念し、式辞といたします。

第76回卒業証書授与式 28名の3年生、立派に卒業

3月15日(水)、晴天の青空の下、第76回卒業証書授与式が行われ、校長先生から28名の卒業生に卒業証書が渡されました。今回は1・2年生も参加し、ほぼ通常通りの式次第で実施しました。



在校生代表の河合李應くん(生徒会長)は、送辞の中で (3年生は)「いつも明るくそして僕たちを引っ張ってくれ ました」「一人では困難なことでも誰かと相談しながら協力 して乗り越えていく姿を僕たちに示してくれました」と述 べ、最後に「皆さんが僕たちを引っ張ってくれたように、 次は僕たちがこの遠矢中学校を引っ張っていきます」と在 校生の決意を示しました。

卒業生代表の對馬菖姫さん(前生徒会長)は、答辞の中で(3年間の思い出として)「このメンバーで行く最後の修学旅行、3年生で初めての強歩遠足、毎年雪が降るとやっていた雪合戦」を挙げ、かけがえない日々だったことを思い返していました。また、在校生には、友達を大切にすることや悔いを残さないように挑戦することなどを伝えました。最後に、学級担任の小野村先生に向け、「いつも私たちと目線を合わせ、落ち込んでいる人がいればすぐに気づいて、話を聞き、寄り添ってくれました。大好きです。ありがとうございました」と感謝の気持ちを述べました。

卒業生は、在校生や教職員に惜しまれつつ、遠矢中学校から新たな進路へ巣立っていきました。

いじめを根絶するためには・・・ 第2回美心集会で全校討議



13日(月)、「美心宣言2 019」に基づく活動の一環 として、第2回美心集会が行 われました。その中で、重点 項目「他人の個性を認め、歩 み寄る姿勢を大切にしよう」 を実現させるため、一人ひと

りでできるいじめ根絶に向けた方策を1~3年混合の9グループでそれぞれ話し合い、発表しました。

令和4年度教職員人事異動 4名の先生が異動・退職

高橋 孝一郎 教諭(7年間勤務)→釧路市立美原中学校へ転出



この度の異動で、釧路市立美原中学校へ赴任することになりました。本校では若葉学級を中心に7年間お世話になり、授業や行事での様々な思い出が蘇ってきます。素直で子どもらしい生徒たち、温かい地域の皆様に支えられ過ごした日々は、自分にとって大切な財

産になりました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。少し遠くからにはなりますが、今後も遠矢中の応援団でいる つもりです。長い間、ありがとうございました。

篠原 光一 教諭(6年間勤務)→釧路市立鳥取中学校へ転出



遠矢中学校には、6年間お世話になりました。担任として2年間、普段の学級での生活はもちろん、宿泊研修や遠中祭などの行事で頑張る生徒たちと過ごすことができて、とても幸せでした。4月からは、釧路市立鳥取中学校での勤務となります。遠矢中で学んだこ

とを生かして頑張りたいと思っています。今まで、ありが とうございました。皆さん、お元気で!!

小野村 凜 教諭(4年間勤務)→浜中町立散布中学校へ転出



4年間大変お世話になりました。教員として初めて勤務する学校が、自分の母校であることに驚きを感じた4年前。遠矢中での日々は本当にあっという間でした。初めてで右も左もわからない私に、生徒の皆さんや保護者の皆様、地域の皆様が温かく接してくれたこ

とに、心から感謝しています。この先も遠中生が、明るく 元気に育ってくれることを願っています。頑張れ、後輩た ち!

佐藤 里加 教諭(5年間勤務)→退職



遠矢中学校には5年間お世話になりました。当時は、2クラスある学年もあるなど生徒の人数も多く、一年を通して全校合唱にも取り組んでおり、歌声の響く学校であることが遠矢中学校の伝統となっておりました。また、合唱部も活動しており、音楽に囲まれて

の学校生活は、音楽教師にとって楽しいものでした。コロ

ナ以前は、PTA 活動も活発になされており、保護者の皆様と一緒にそば打ちや作品づくりをしたことも忘れられない思い出となっております。様々な場面でご支援、ご協力いただきましたことに深く感謝をし、最後のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

【4月学校行事予定】

日	曜	主な活動	バス
1	±	学年始休業~5日(水)	
2	田		
3	月		
4	火		
5	水		
6	木	着任式・始業式・入学式準備	11:40
7	金	令和5年度入学式	12:30
8	±		
9	П		
10	月	修学旅行説明会 対面式	15:40 17:00
11	火	2計測・視力・聴力検査(2・3年)	15:40 17:00
12	水	職員会議 部活動停止日 ノーゲームデー 歩こうデー 5時間授業 2計測・視力・聴力検査(1年)	14:45
13	木	学力テスト(全) 部活動停止	15:40
14	金	専門委員会 5時間授業 ALT	14:45 15:40 17:00
15	土		
16	日		
17	月	全校朝会	15:40 17:00
18	火	全国学力・学習状況調査(3年) 部活動発会式	15:40 17:00
19	水		15:40 17:00
20	木		15:40 17:00
21	金	専門委員会 5時間授業 ALT	14:45 15:40 17:00
22	±	授業参観日① 学級懇談会 PTA 総会 教育 課程説明会	10:50
23	日		
24	月	振替休業日	
25	火	家庭訪問・保護者面談①(予定)	15:40 17:00
26	水	前期生徒総会 家庭訪問・保護者面談②(予定)	15:40 17:00
27	木	心臓検診(1年)家庭訪問・保護者面談③(予定)	15:40 17:00
28	金	副教材引落日 家庭訪問・保護者面談④(予定) ALT	15:40 17:00
29	±		
30	日		
			<i>T</i> L\ - -

- ◎「MPL」めざせパーフェクトラーニング(放課後学習の名称)の日
- ◎「ALT」外国語指導助手来校日